

日本語クイックガイド

AirMagnet Spectrum-XT Version. 3.9

NETSCOUT.

AirMagnet
Spectrum XT



東洋計測器株式会社

本書は当該ソフトウェアの操作の補助の為に作成されたものです。
仕様などの御確認は My AirMagnet 内の英文最新版をご参照ください。

2019年8月

目次

- ① ソフトウェアのインストール (1)
 - インストールするパソコンの主なシステム条件
 - ソフトウェアの準備
 - ソフトウェアとドライバーのインストール
 - ライセンスファイルの指定

- ② ソフトウェア起動から測定まで (11)
 - ソフトウェアの起動
 - スペクトラムと channel 表示
 - Find Device (機器発見)
 - レーダー検出ツール
 - レポート

- ③ メニュー操作 (24)
 - Toolbar
 - WiFi Summary
 - Non-WiFi Interference
 - AP
 - 操作画面の切り替え

- ④ サポートサービスについて (35)

- ⑤ お問い合わせについて(36)

① ソフトウェアのインストール

●インストールするパソコンの主なシステム条件

Windows 7 Enterprise/Professional/Ultimate 64 ビット、Windows 8.1 Pro/Enterprise 64 ビット、

Windows 10 Pro/Enterprise 64 ビット

Intel® Core™ 2 Duo 2.00 GHz (Intel® Core™ i5 以上を推奨)

RAM 4GB 以上

HDDもしくはSSDの空容量 250MB

Microsoft .NET Framework 4.6.1

詳細は <https://www.netally.com/> でご確認ください。

ソフトウェアのインストール、起動、使用を開始する前には以下の点にご注意ください。

- ・インストールの際には必要なプログラム等をインターネットから取得する必要があるため、インターネット接続を有効にしてください。
- ・ソフトウェアを実行するには管理者権限を持つユーザーアカウントが必要です。
- ・PC や OS により表示される画面・インストールされる物が異なる場合があります。
- ・特定のセキュリティ設定やウィルス対策ソフトがソフトウェアの動作の妨げになる場合があります。
- ・無線アダプタを使用するその他のソフトウェアは本ソフトウェアと競合する場合があります。

●ソフトウェアの準備

MyAirmagnet https://airmagnet.netscout.com/my_airmagnet/ からダウンロードしたインストールファイル、

ライセンスファイルを用意します。

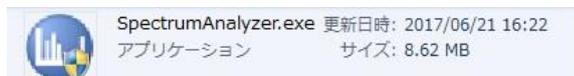
ダウンロードの方法は製品ご登録の際にお届けしている「My_AirMagnet のご案内」をご参照ください。

お手元にない場合は右記へご連絡ください。 <https://www.keisokuki-land.co.jp/netally/#contact>

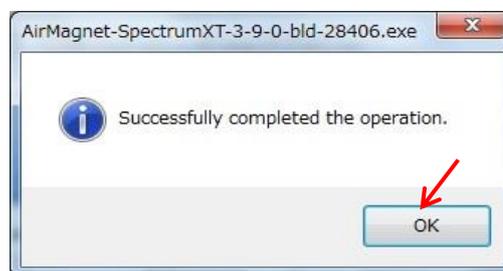
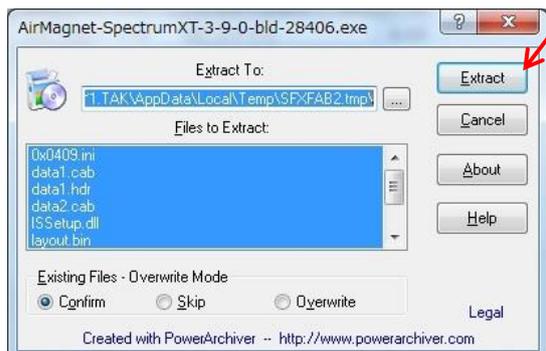


●ソフトウェアとドライバーのインストール

以下のソフトウェアを起動しインストールをしますが、ここでは USB アダプタを接続しないで下さい。



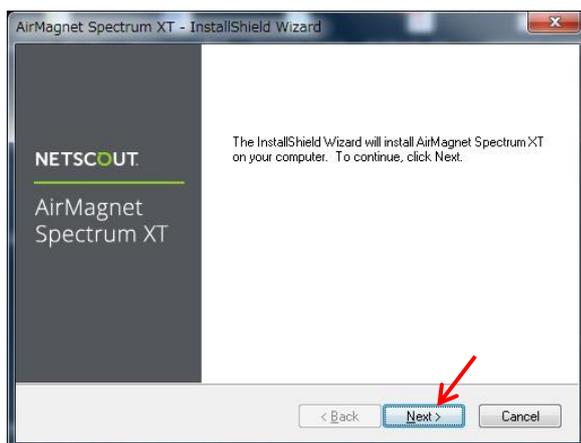
すると、次の画面が出てきますので、Extract をクリックします。



完了したとのメッセージが出ますので、OK をクリックします。

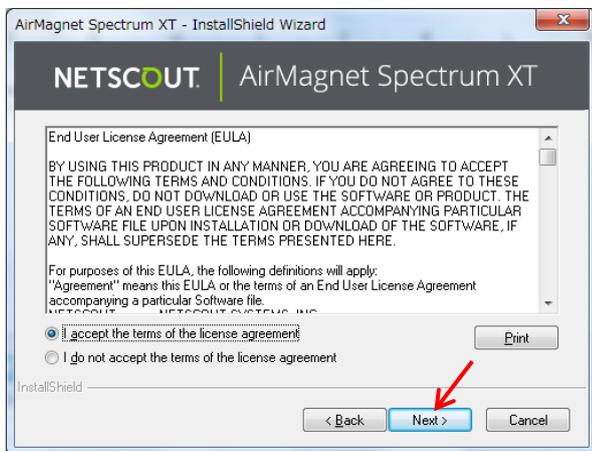
そして、ユーザーアカウント制御のウィンドウが開き、次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますかとメッセージが出ますので、はい をクリックします。

すると次のように InstallShield Wizard の画面になり、Next をクリックします。



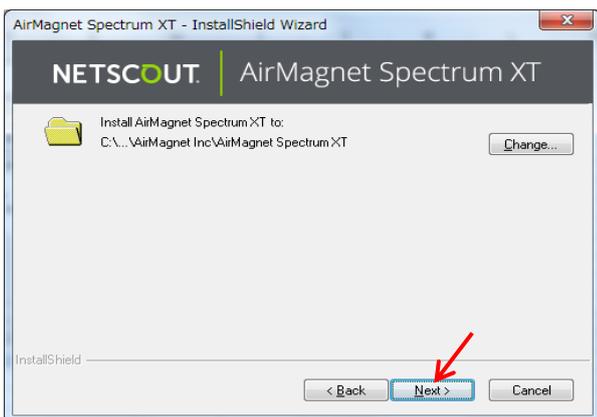
次にライセンス条項です。

ご確認いただきよろしければ Accept にチェックを入れ、Next をクリックします。

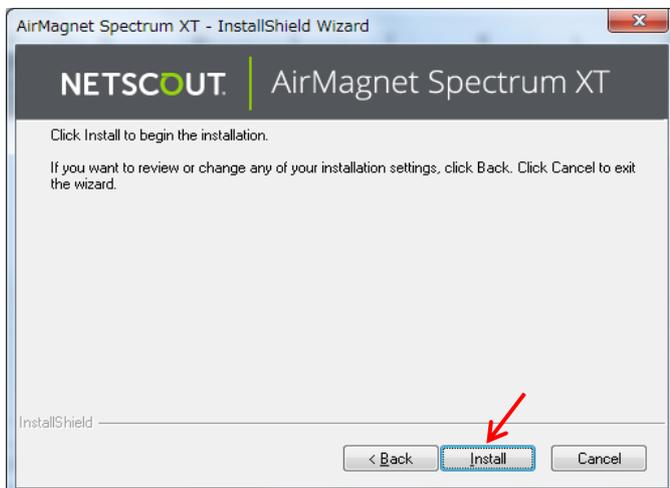


そしてインストール先のフォルダを選択します。

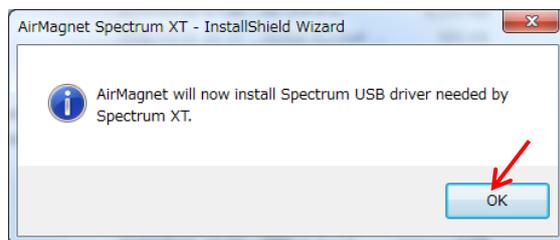
特に必要なければデフォルトのまま(Next をクリック)ご使用ください。



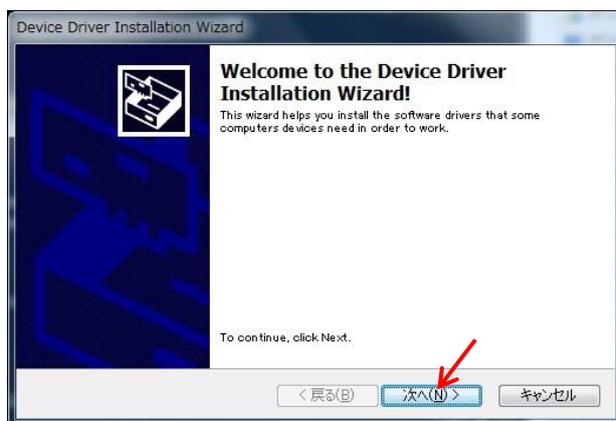
次の画面では、Install をクリックします。



そして Spectrum XT の USB ドライバーをインストールします。OK をクリックします。



その後、次のドライバインストール画面になりますので、次へをクリックします。



次のメッセージが出てきますので、「・・・常に信頼する」にチェックを入れ、インストールをクリックします。



続いて、ドライバインストール完了のメッセージが出ますので、完了をクリックします。



次の画面が出てきますので、「・・・常に信頼する」にチェックを入れ、インストールをクリックします。



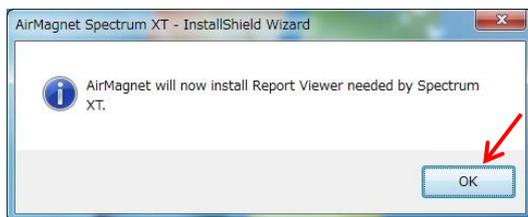
すると、以下のように追加の Windows コンポーネントをインストールしますか？と聞いてきますので、OKをクリックします。



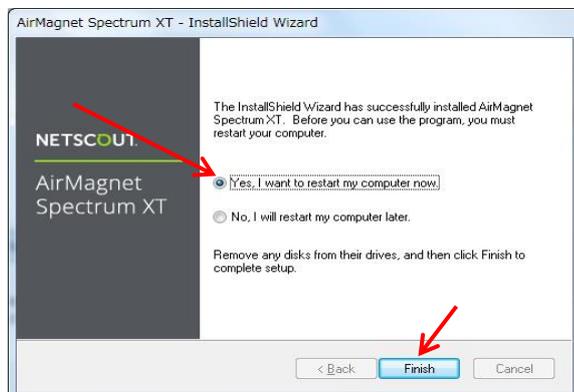
次に、以下の画面が出てきますので、「ライセンス条項・・・同意する」にチェックを入れて、インストールをクリックします。



そして、以下のようにレポートビューワーをインストールしますか？と聞いてきますので、OKをクリックします。

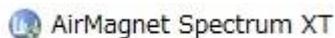


最後に、コンピュータをリスタートしますか？と出てきますので差し支えなければ、Yes を選択し Finish をクリックします。



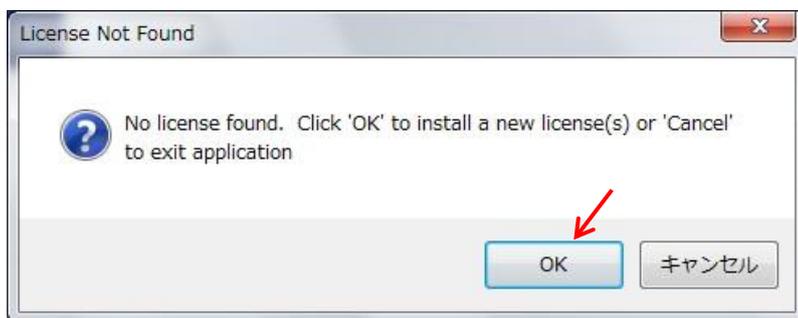
●ライセンスファイルの指定

PC 起動後、ソフトウェアの起動前にシリアルナンバーを登録した USB アダプタを PC に接続してください。
PC の WINDOWS のスタートメニューから、AirMagnet Spectrum XT を起動します。



すると、ユーザーアカウント制御のウィンドウが開き、「次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか」とメッセージが出ますので、はい をクリックします。

最初の起動の際にはライセンスがまだ指定されていないので、下記のような画面が出ます。

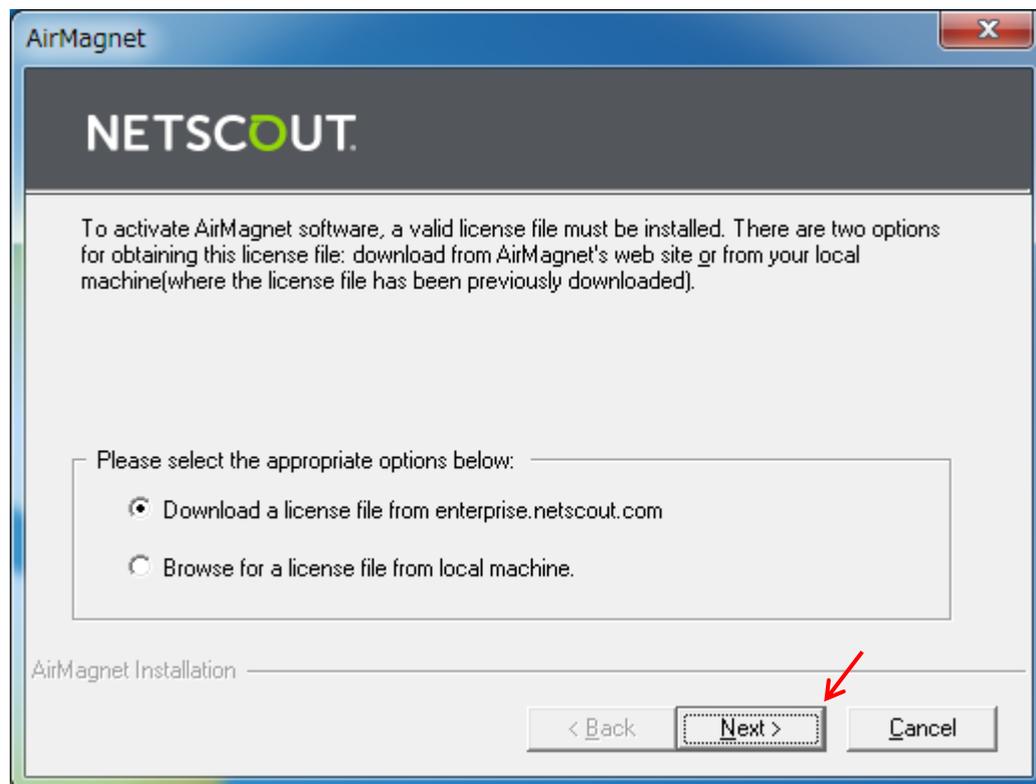


ライセンスの指定はここでダウンロードする方法と MyAirMagnet から事前にライセンスをダウンロードしてブラウズする方法が有ります。

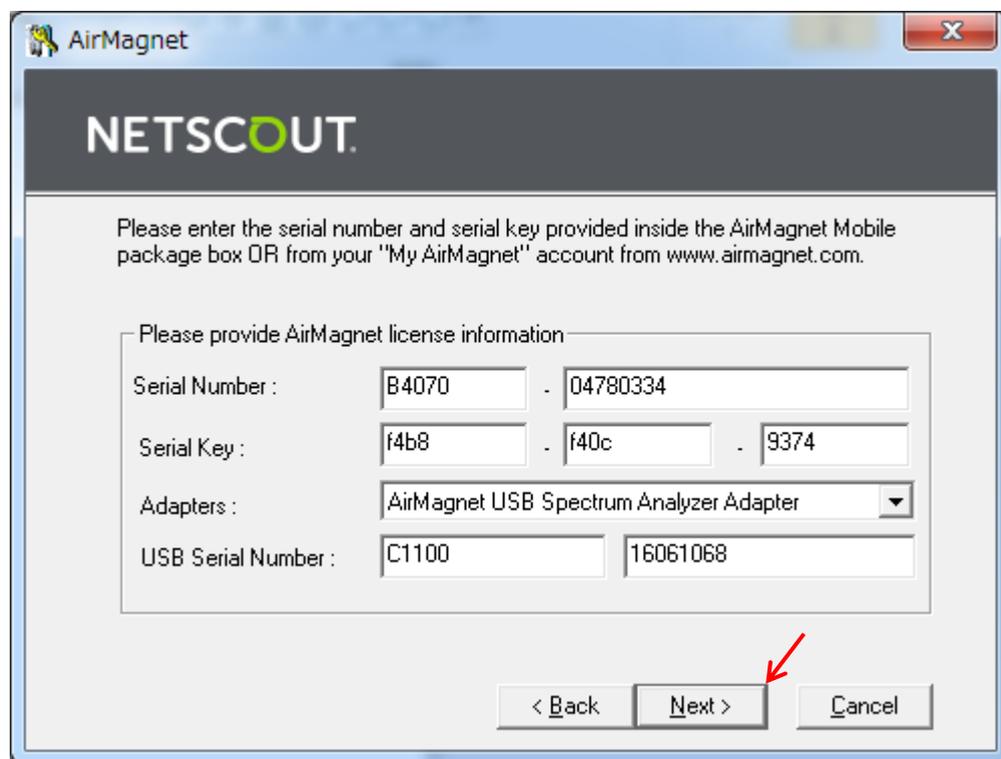
ライセンスを事前にダウンロードしていない場合は**ライセンスファイル指定①**(8 ページ)へ
ライセンスをダウンロードした場合は**ライセンス指定②**(9 ページ)へ進んでください。

ライセンスファイル指定①

[Download a license file from airmagnet.netscout.com.]を選択し[NEXT >] をクリックします。



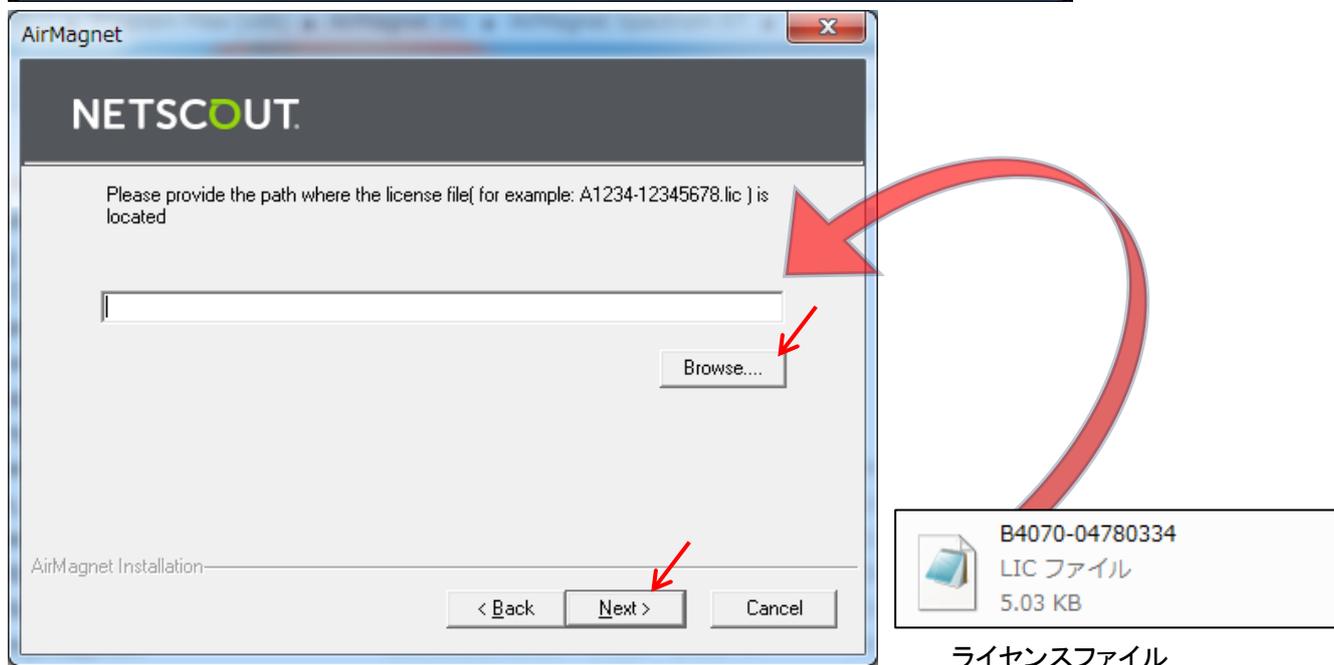
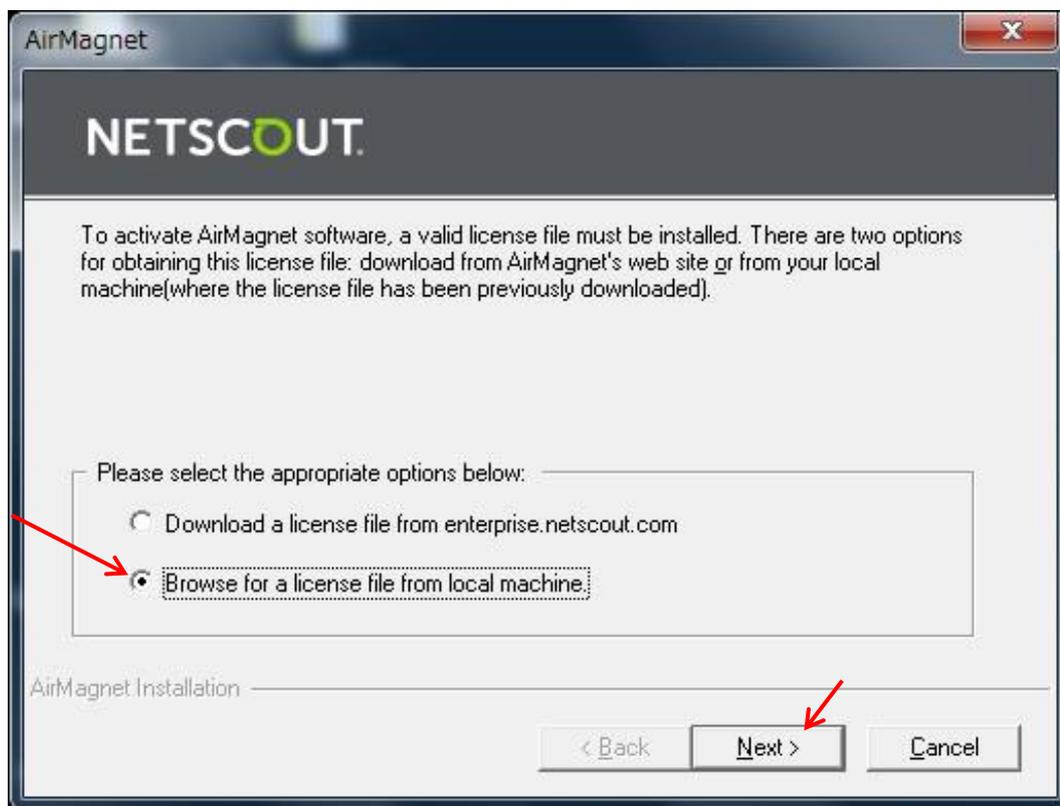
ソフトウェアのシリアル番号とシリアルキーを入力し[NEXT >] をクリックします。



10 ページへ

ライセンスファイル指定②

「Browse for a license file from local machine」を選択し、[NEXT >]をクリックします。

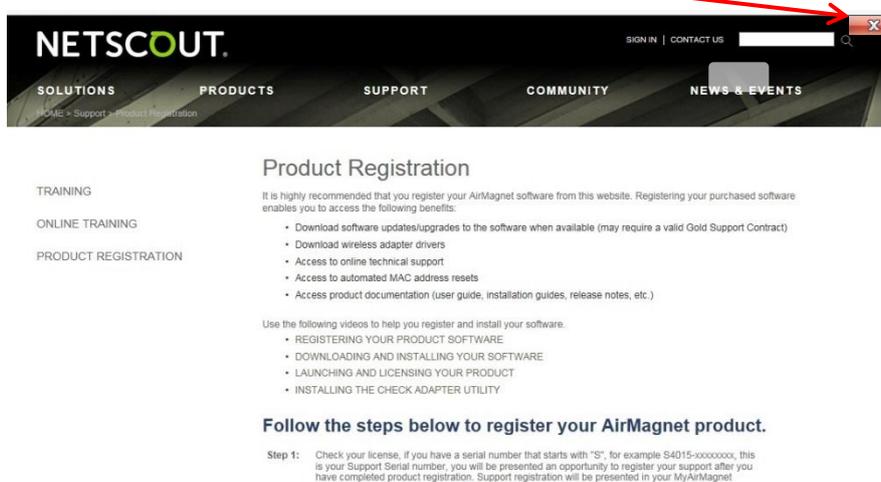


ここでは、事前にダウンロードしたライセンスファイル(B4070-xxxxxxx.lic)を指定します。

ライセンスファイルを認識すると、次の画面が出てきてインストールに成功したことを表しますので、Next をクリックします。



次に以下のウィンドウが出てきましたら、右上の X をクリックしてこの Window を閉じます。



② ソフトウェア起動から測定まで

●ソフトウェアの起動

はじめに、AirMagnet Spectrum XT 用のアダプタを PC の USB ポートに取り付けます。

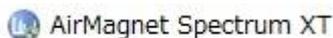
使用中に、接触してアダプタが破損するのを防ぐため、PC の USB ポートに直接ではなく、延長ケーブルを使用して接続することをお勧めします。



また、同時に Edimax AC1750-JP をお使いの場合には、同様に取り付けます。



AirMagnet Spectrum XT を起動します。

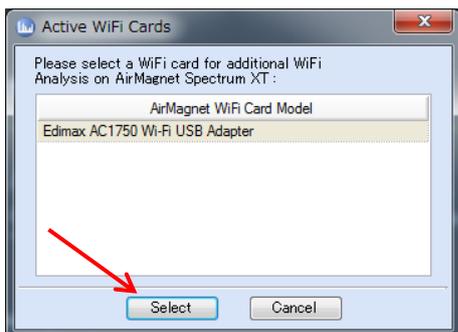


次のメッセージが出ますので、「はい」をクリックします。



次に、下記のようなメッセージが出て、WiFi アダプタを使用しない場合には、「Cancel」をクリックします。

Edimax AC1750-JP 等の NETSCOUT 推奨の WiFi アダプタを使用する場合には、アダプタを選択し「Select」をクリックします。推奨の WiFi アダプタを使用することにより、WiFi AP の情報が得られます。

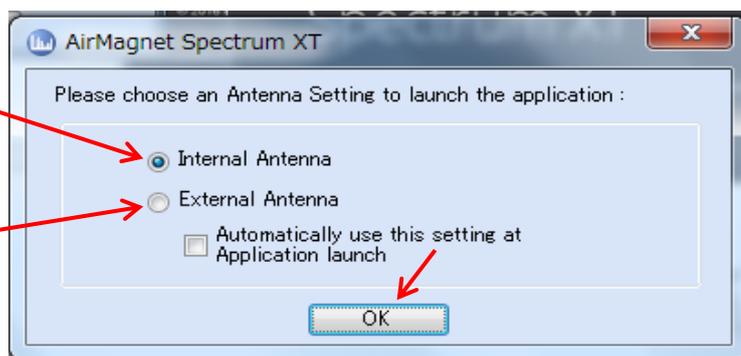


次に、使うアンテナを C1100 アダプタの内部アンテナを使うか、外部アンテナを使うかを選択して、OK をクリックします。外部アンテナを使う際には下記のようにつなぎます。



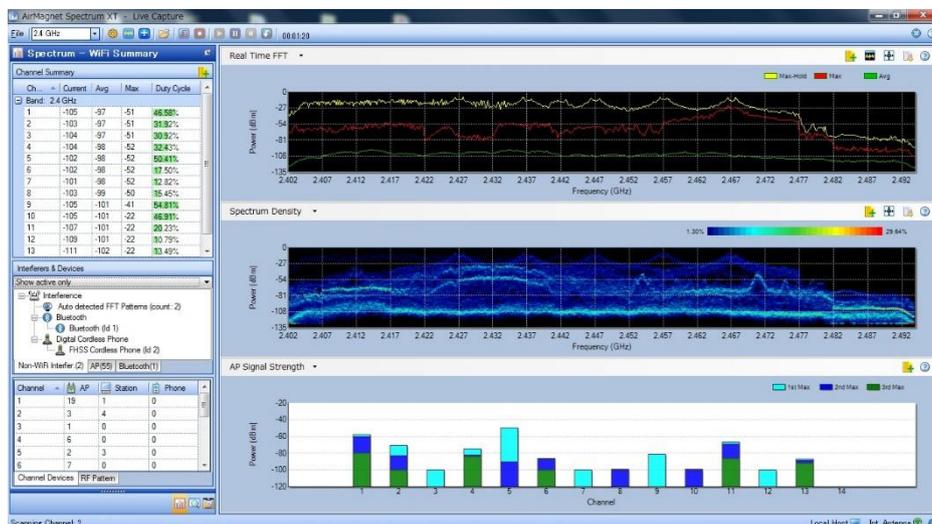
内部アンテナを使用する場合

C1100 又は A4040-J 外部アンテナを使用する場合



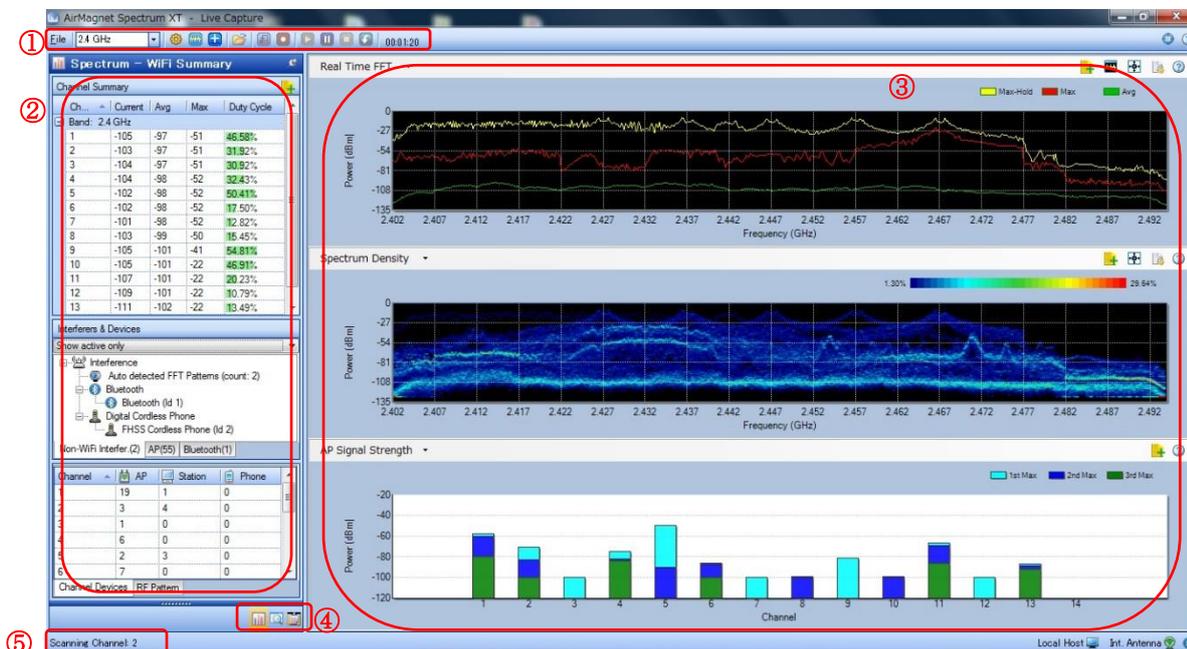
注) アンテナ選択は、Spectrum XT ソフトウェア画面からも変更することができます。(Configure - General)

下記のような測定画面が立ち上がります。



●スペクトラムと channel 表示

Spectrum XT を起動した時の最初の画面は以下ようになります。



① ツールバー

Spectrum XT の操作、測定や表示の設定などを行うためのツールバーです。

② WiFi サマリーウィンドウ

WiFi のチャンネルのサマリーや干渉デバイスの表示などを行います。

③ グラフウィンドウ

測定したスペクトラム波形や WiFi のデータを表示します。

④ 操作切替スイッチ

通常の測定画面 Spectrum-WiFi Summary 、干渉源を見つける Find Device 、レポート出力  から選択します。

⑤ スキャンチャンネル表示

NETSCOUT 社推奨の WiFi アダプタ (Edimax AC1750-JP など) を使った場合は、スキャンしているチャンネルが表示されます。

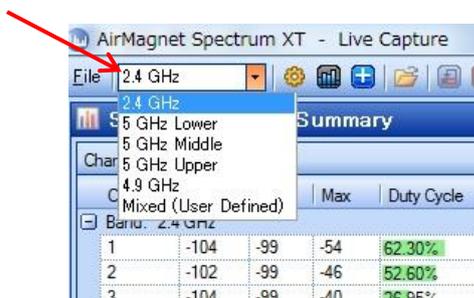
① ツールバー



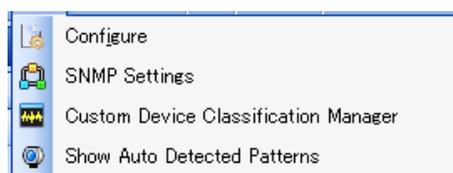
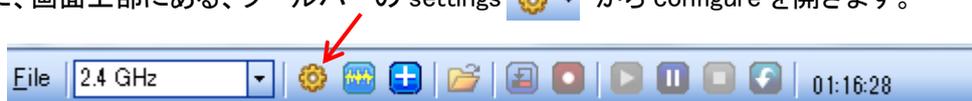
測定や記録の開始・停止、測定や表示の条件設定、保存したファイルの再生などの設定を行います。

はじめの設定を行います。

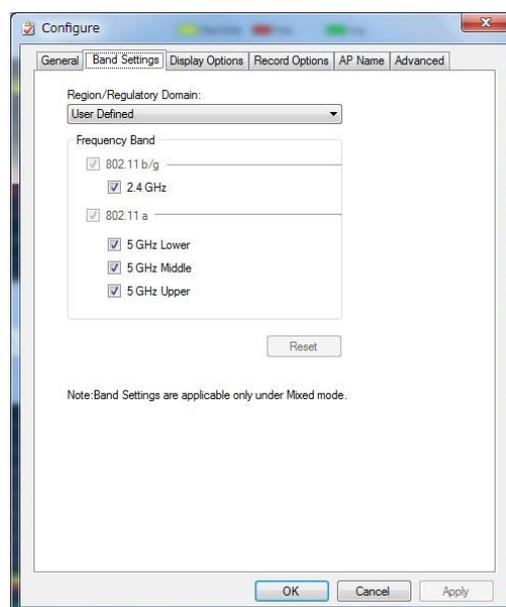
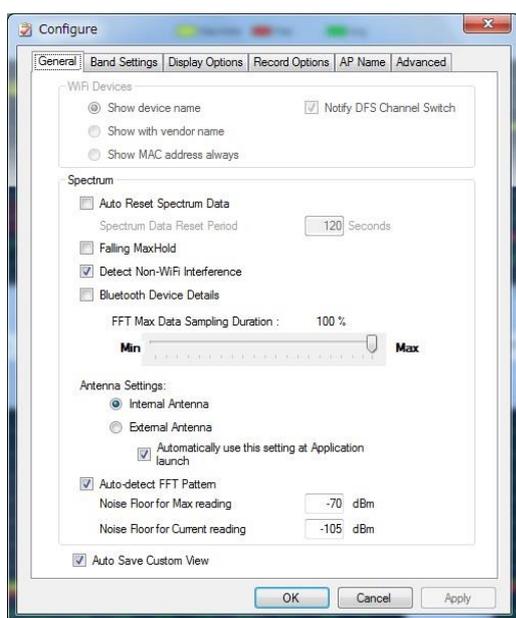
まず、測定する周波数(2.4GHz 5GHz 4.9GHz など)を選択します。



次に、画面上部にある、ツールバーの settings  から configure を開きます。



開いたウィンドウの上部にあるタブの設定を、必要に応じ設定します。



② WiFi サマリーウィンドウ

右のように表示されますが、上から Channel Summary、Interferes & Devices に分かれています。

Channel Summary には、Wi-Fi チャンネルの現在測定値、平均値、最大値、Duty Cycle が表示されます。

Interferes & Devices には、干渉として検出されたものが表示されます。

Interferes & Devices 表示のすぐ下には、Show active only と Show all のいずれかを選択します。Show active only を選択すると直近1分間に検出されてものが表示されますので、以前の干渉を見る場合には Show all を選択して下さい。

検出された干渉デバイス(非 Wi-Fi、AP、Bluetooth)が表示されます。

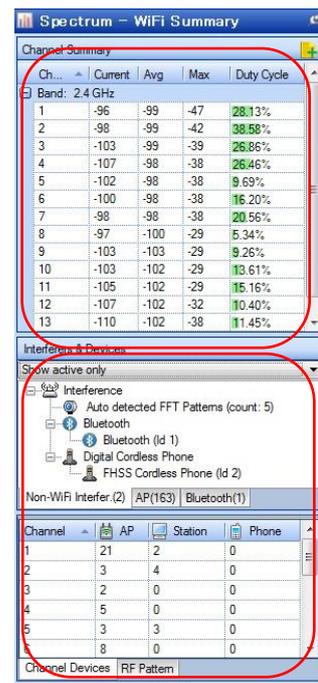
非 Wi-Fi、Bluetooth、コードレス電話、電子レンジ、Playstation 等があります。

AP 検出された AP が表示されます。(WiFi ネットワークアダプタが必要です)

Bluetooth 検出された Bluetooth が表示されます。(Bluetooth アダプタが必要です)

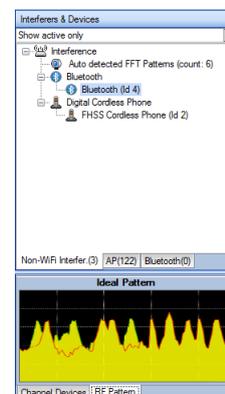
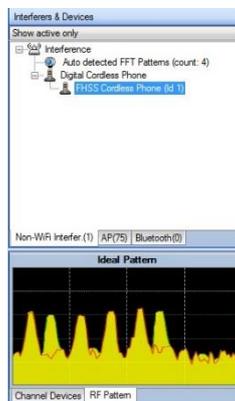
(AP や Bluetooth の表示にはそれぞれ、WiFi ネットワークアダプタ、Bluetooth アダプタが必要になります)

一番下には、検出された Wi-Fi チャンネルがチャンネル、AP、端末、電話として表示されます。



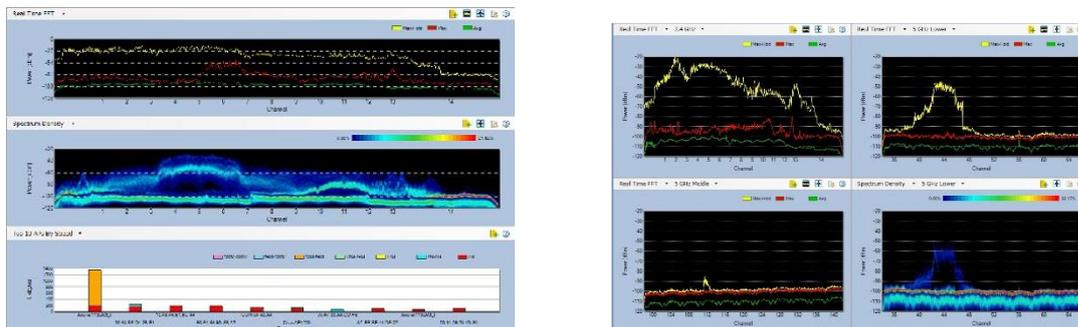
Channel	AP	Station	Phone
1	18	3	0
2	3	5	0
3	5	0	0
4	3	1	0
5	3	6	0
6	9	0	0
7	2	0	0
8	7	1	0

また、RF Pattern を選択すると、右図のように干渉源のパターンを表示します。FHSS Cordless Phone 及び Bluetooth の典型的な周波数パターンを表しています。Spectrum XT は、コードレス電話をはじめ Bluetooth や ZigBee、電子レンジ、ゲーム機器など多くの周波数パターンを検出することができます。

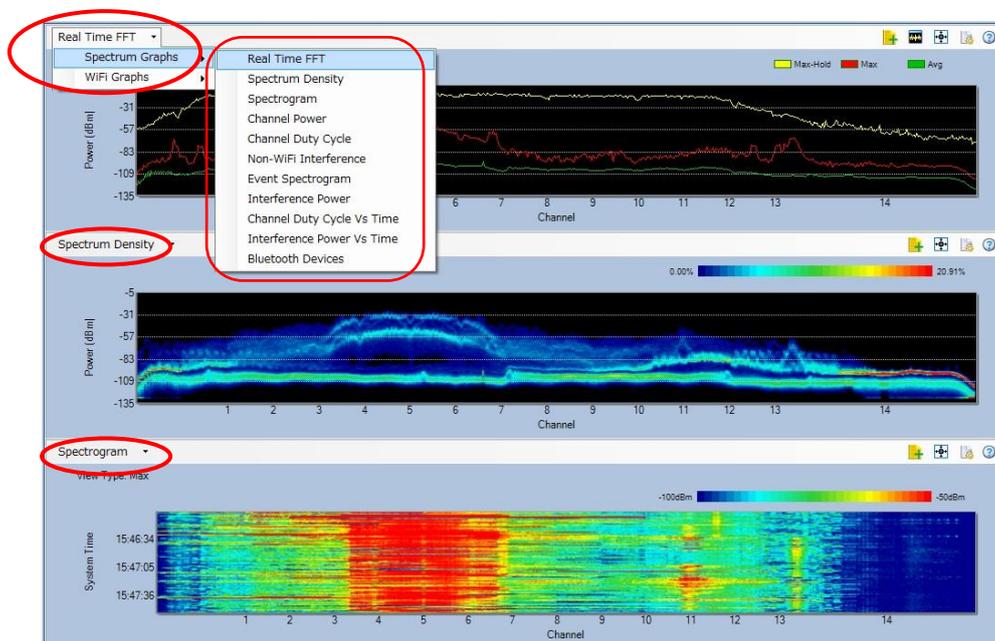


③ グラフウィンドウ

下記のように、周波数選択や表示項目によって異なりますが、周波数スペクトラムなどのグラフ表示をします。



各フィールドの波形は、各フィールドの左上の選択プルダウンメニューから選ぶことができます。



なお、WiFi Graphs の右図の項目には NETSCOUT 推奨のアダプタ(AC1750-JP 等)が必要です。アダプタがなければ、グレイアウトしています。

- Channels By Speed
- Channels By Media
- Channels By Address
- Channel Utilization
- Top 10 APs By Speed
- Top 10 Active APs' Retry/CRC
- Channel SNR
- Channels By Retry/CRC

画面の上部の Easy View から、簡単に測定・表示項目を選択することができます。選択できるのは右画面の通りです。

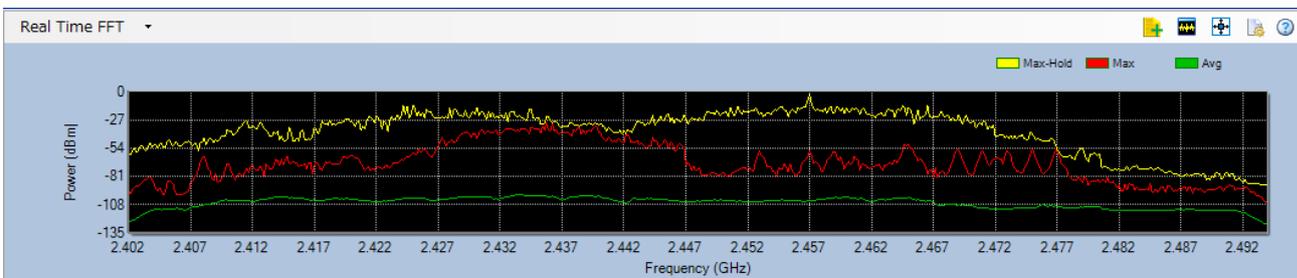
- Spectrum View
- Density View
- RF Usage View
- RF Channel View
- Device Occupancy View
- WiFi Device View
- Non-WiFi Device View
- Add Current View...
- Delete Custom Views...
- Save Current View Ctr+S

画面左上の  によってグラフを以下のように追加することもできます。



画面の説明

このグラフは FFT の画面になります。



X-Axis Label Type から By Channel を選ぶと X 軸を WiFi のチャンネル表示することもできます。

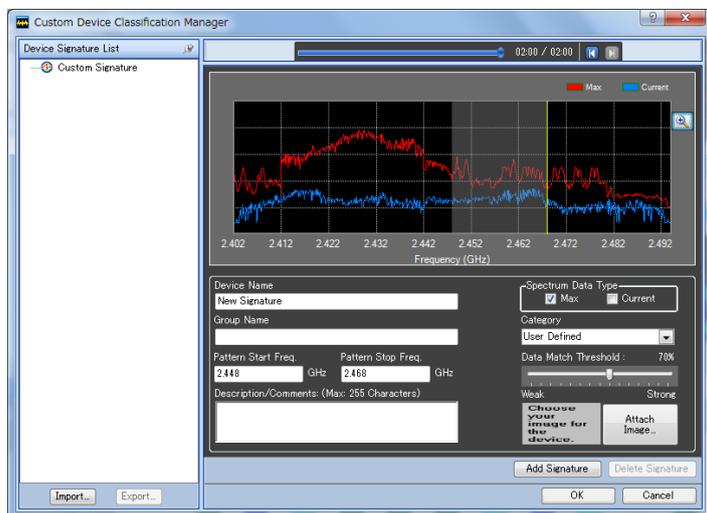


By ZigBee Channel を選択することにより、X 軸を ZigBee のチャンネルで表示することもできます。

グラフの右上の表示について。 

 グラフウィンドウに表示されているグラフをレポートに追加します。

 Spectrum XT のパターンにない、カスタムデバイスの分類を設定します。



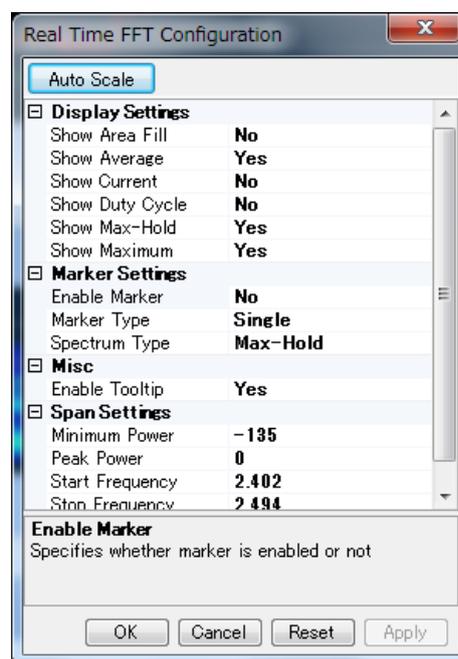
 グラフの表示をオートスケールします。

 グラフの設定の詳細を表示します。

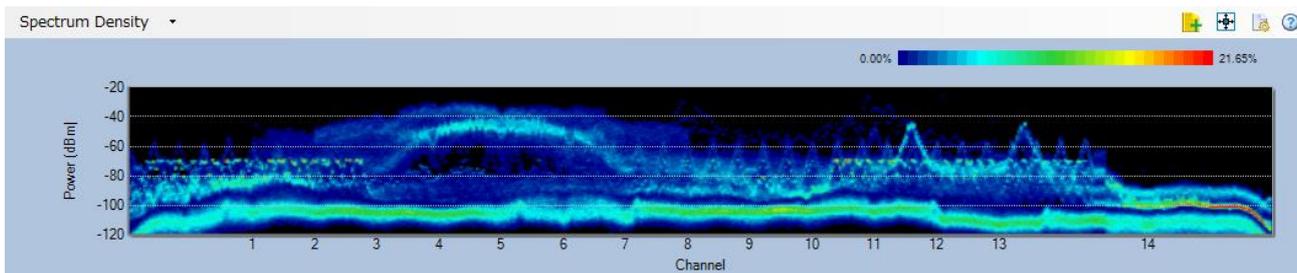
右図の通りです。

 グラフの HELP です。

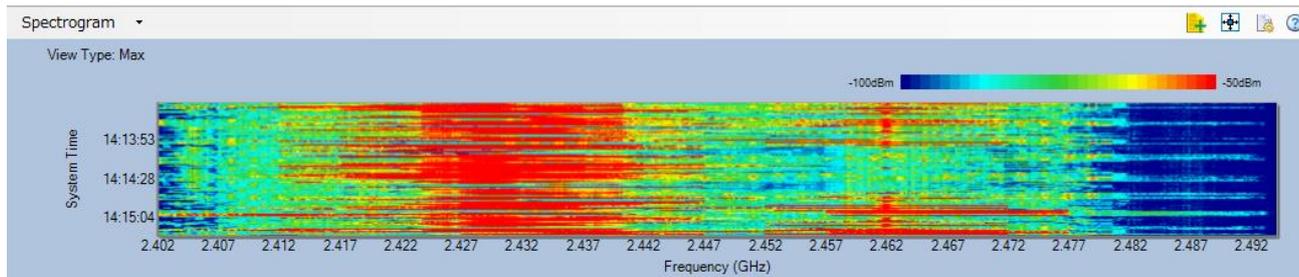
HELP 画面が現われます。



下記の Spectrum Density 表示は、取り込んだスペクトラムの発生頻度を色で表示したものです。



下記の Spectrogram 表示は、取り込んだ波形をレベルで色づけし、Y 軸に時間経過とともに表示したものです。



下記のように通信の速い 10 個の AP を表示することができます (AP 名が下に出ます)。



④ 操作切替スイッチ (操作中にそれぞれの画面から切り替えることができます。)

全体画面の左下 (Interference & Devices の最下部) にあります。



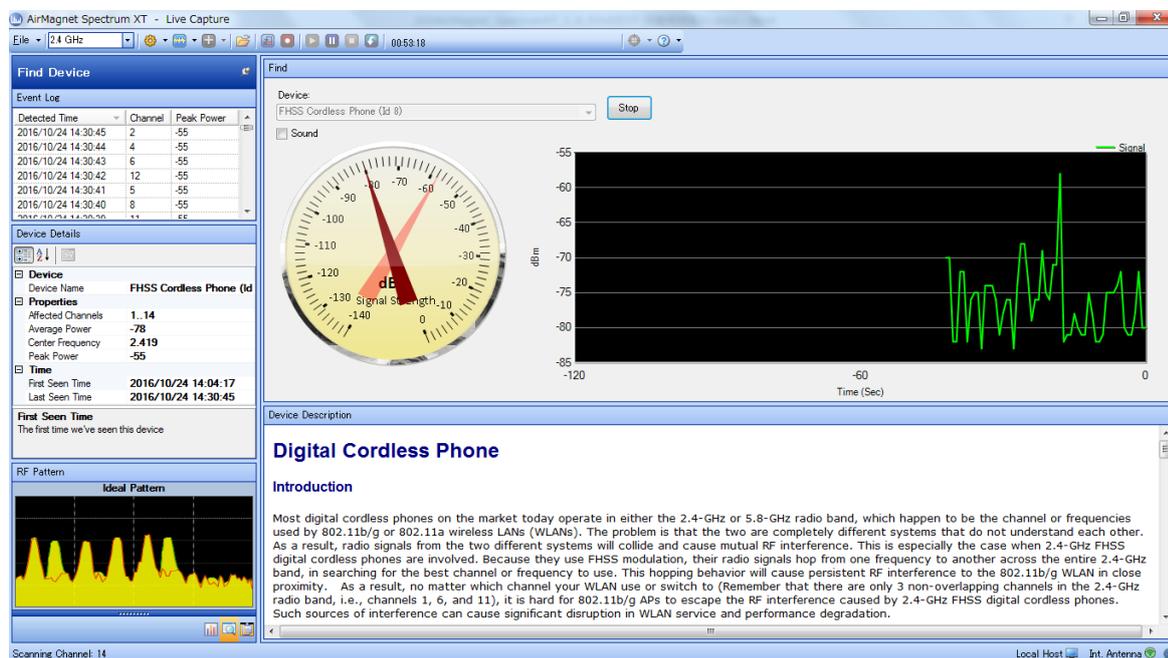
⑤ スキャンチャンネル表示

全体画面の左下の Scanning channel は、スキャンしているチャンネルを表します。



● Find Device (機器の発見)

Find Device では以下の画面になります。



初めに、上部の設定窓に探したいデバイスを選択します。現在信号を出しているデバイスを選択し、

Find をクリックします。必要に応じ、指向性外部アンテナ(A4040:オプション)を使用します。

アンテナを切り替える場合には、 configure の general でアンテナの internal/external で選択します。



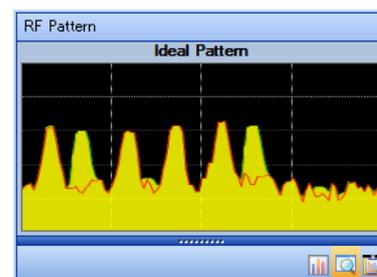
探すデバイスに近づけば、メータのレベルが大きくなり、右の時間ウィンドウ表示では上に振れます。

Sound にチェックを入れると、レベルに応じて音が変わります。

左側には、イベントログ、デバイスの詳細、RF パターンが表示されます。

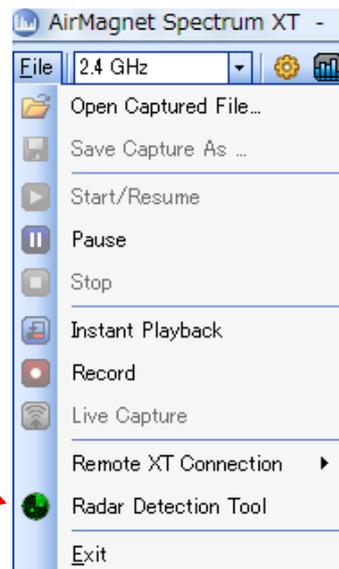
Find Device		
Event Log		
Detected Time	Channel	Peak Power
2016/10/24 14:34:11	1	-55
2016/10/24 14:34:01	1	-55
2016/10/24 14:33:51	11	-55
2016/10/24 14:33:41	11	-55
2016/10/24 14:33:31	11	-55
2016/10/24 14:33:21	3	-55
2016/10/24 14:33:11	2	-55

Device Details	
Device Name FHSS Cordless Phone (Id 8)	
Affected Channels 1..14	
Average Power -76	
Center Frequency 2.406	
Peak Power -55	
First Seen Time 2016/10/24 14:04:17	
Last Seen Time 2016/10/24 14:34:01	
First Seen Time The first time we've seen this device	



●レーダー検出ツール

DFS 機能は、WiFi 機器がレーダー波を検出すると一定時間チャンネルを自動的に切り替えるものです。AirMagnet Spectrum XT には、気象・航空気象レーダーの電波を検出する機能があります。File からのプルダウンメニューを開くと、右図のように Radar Detection Tool があります。

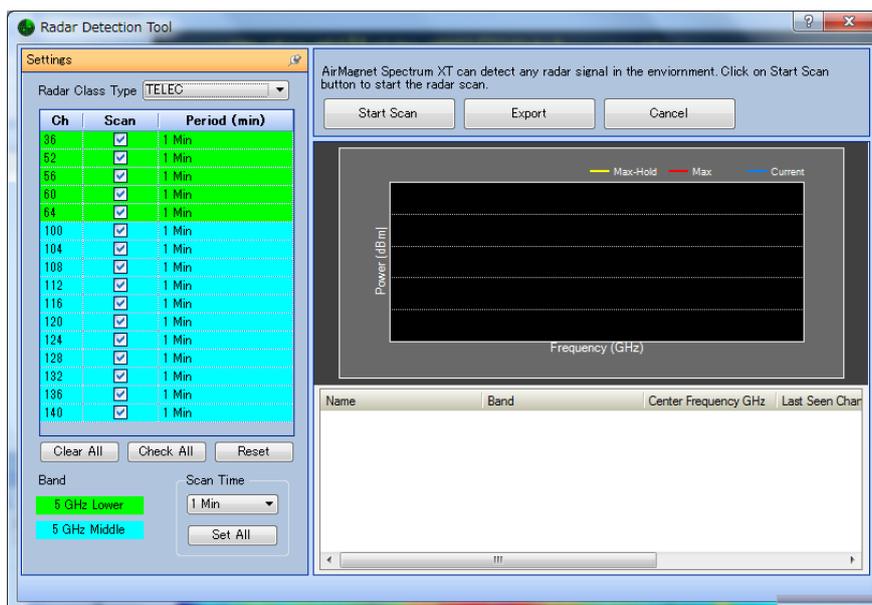


Radar Detection Tool を動作させると、2.4GHz,5GHz の通常スペクトラム測定を停止し、Rader 検出モードになります。

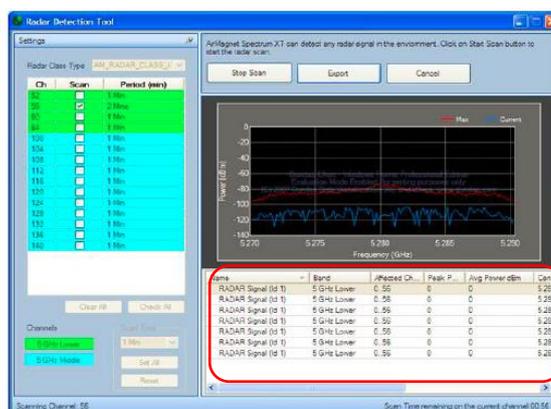
レーダーのタイプは、FCC(米国)、ETSI(ヨーロッパ)、TELEC(日本)の中から選ぶことができます。

また、どのチャンネルを測定するかを選択し、各チャンネルのスキャン時間(scan time)を、1分～30 分の中から選択します。

Start Scan をクリックすることでレーダー検出測定を開始します。測定を停止するには、Stop Scan をクリックします。

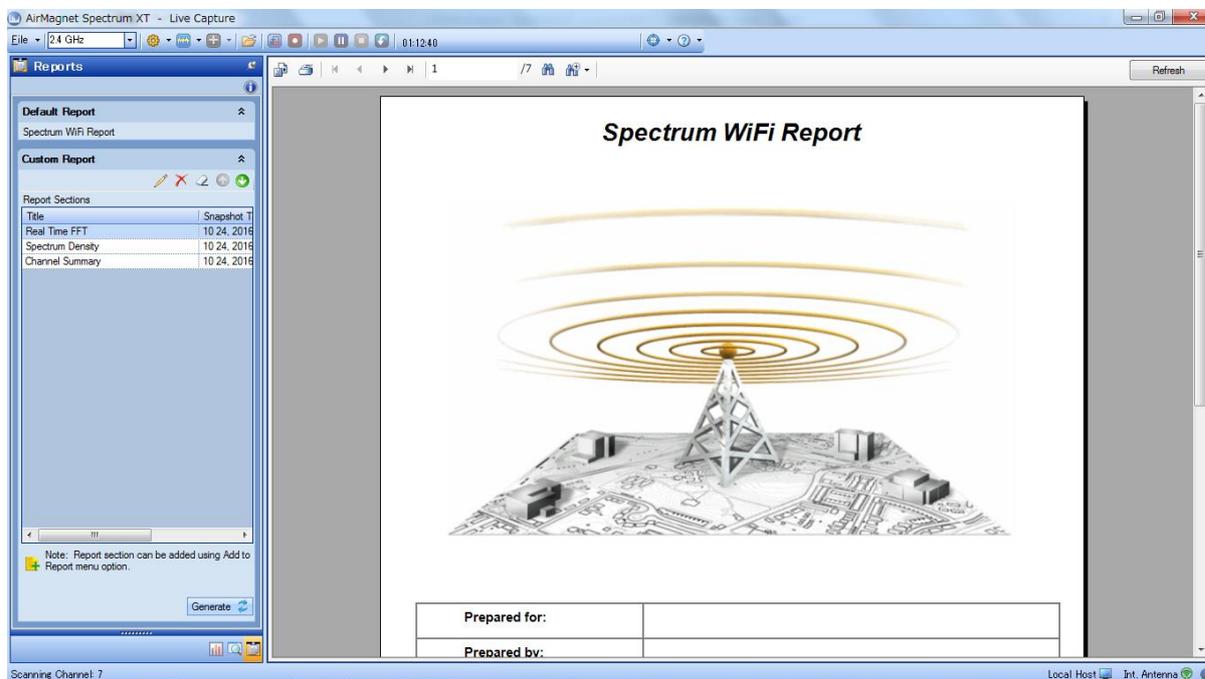


レーダーを検出すると右図のように、波形画面の下に表示します。これは、Export にて CSV 形式で保存することができます。

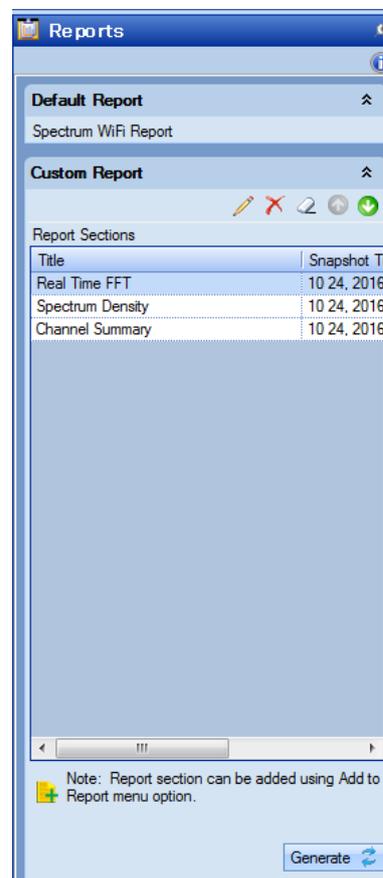


●レポート

測定画面の Add to report  でレポート出力するデータを選び、画面左下の  Reports をクリックすると次の画面になります。

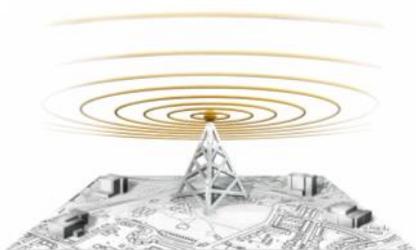


上の図の左側の画面で、レポートの内容を決定します。(右図) 変更したい場合には Custom Report で書き加えます。 Report Section に選択したレポートが入っていることを確認し、 Generate をクリックします。



レポートは下記のように出力されます。(出力例)

Spectrum WiFi Report



Prepared for:	
Prepared by:	
Location:	
Time of Report:	10/24/2016 01:36:06 午後
Comments	

PREPARED BY: AIRMAGNET

Table of Contents

AirMagnet Spectrum XT

1. Real Time FFT test

10/24/2016 02:45:52 午後, 2.4 GHz

test

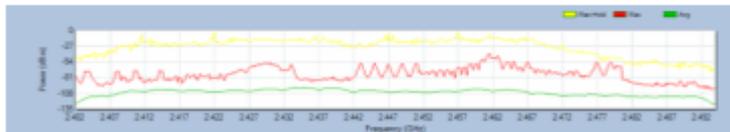


Figure 1: Real Time FFT test

AirMagnet Spectrum XT

2. Spectrum Density

10/24/2016 02:45:56 午後, 2.4 GHz

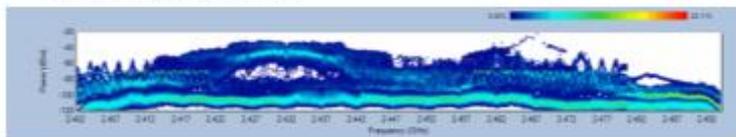


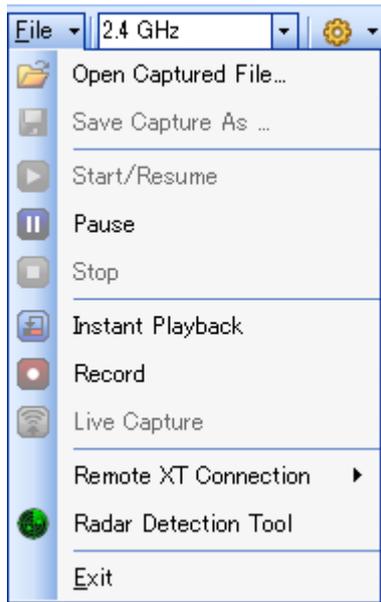
Figure 2: Spectrum Density

③ メニュー操作

Tool bar File, 周波数の選択、設定

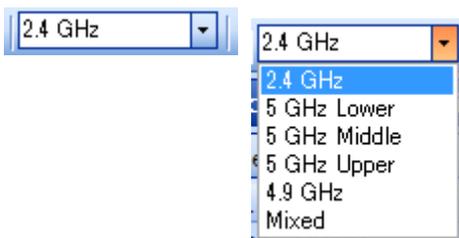


File



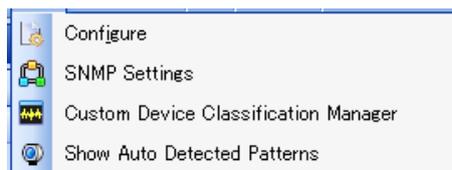
Open Captured File	AirMagnet Spectrum XT でキャプチャしたファイルを開きます。
Save Capture As . . .	取得したデータに名前をつけて保存。
Start/Resume	停止あるいは一時停止した live キャプチャを、開始または再開する。
Pause	Live データキャプチャを一時停止。
Stop	記録または再生を停止。
Instant Playback	2分前までキャプチャしたデータを再生。
Record	キャプチャしたデータをハードディスクに記録。
Live Capture	再生モードから Live キャプチャモードに変更。
Remote XT Connection	ネットワークに繋がった別な PC からリモート制御します。
Radar Detection Tool	レーダー検出ツール。
Exit	アプリケーションを終了します。

周波数の選択



2.4GHz と 5GHz を同時に測定する場合は Mixed を選択してください。

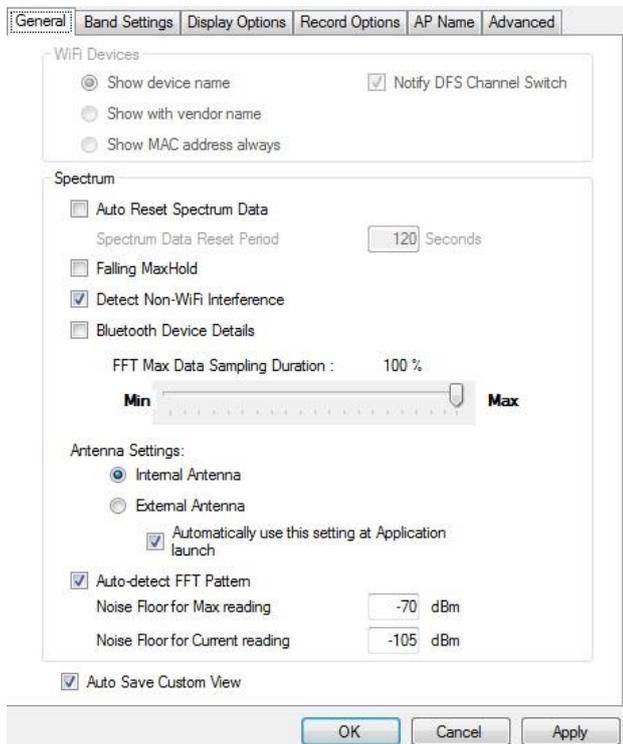
設定



Configure	構成パラメータを決めるダイアログを開きます。
SNMP Settings	SNMP 設定のダイアログを開きます。SNMP 管理ステーションへの統合をする際に使います。
Custom Device Classification Manager	Custom device の分類を追加します。
Show Auto Detected Patterns	Auto Detect のパターンを表示します。

Configure

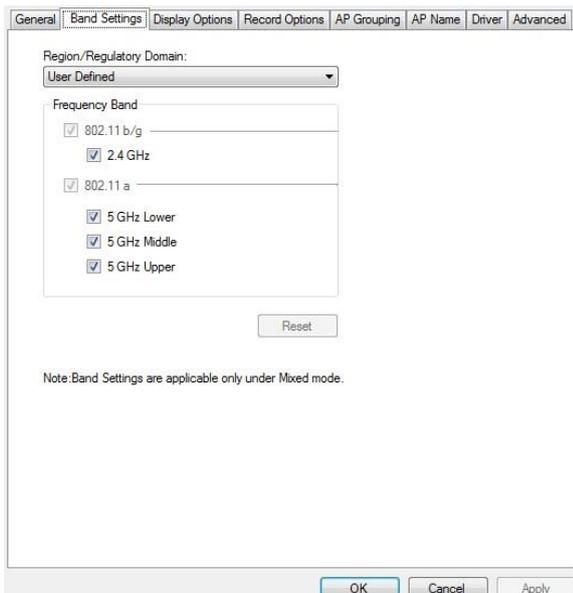
General



*推奨 WiFi アダプタがない時の Tab 表示

WiFi Devices	WiFi デバイス
Show with device name	デバイス名表示
Show with vendor name	ベンダー名表示
Show MAC address always	MAC アドレス表示
Notify DFS channel Switch	DFS チャンネルを通知
Spectrum	スペクトラム
Auto Reset Spectrum Data	スペクトラム自動リセット
Spectrum Data Reset Period 120Second	スペクトラムデータリセット間隔 120 秒などに設定
Falling Max-Hold	誤った Max-Hold を除去
Detect Non-WiFi Interference	非 WiFi デバイス干渉を検出
Bluetooth Device Details	Bluetooth デバイス詳細
Antenna Setting	アンテナ設定
Internal Antenna	内部アンテナ
External Antenna	外部アンテナ
Automatically use this setting at Application launch	最初の設定時のアンテナ設定 を使う
Auto detect FFT Pattern	自動検出 FFT パターン
Noise Floor for Max reading	最大読値のノイズフロア
Noise Floor for Current reading	現在の読値のノイズフロア
Auto Save Custom View	カスタムビューの自動保存

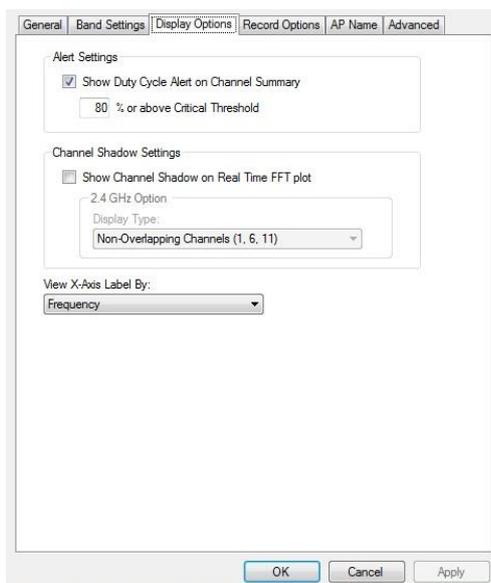
Band Setting



*推奨 WiFi アダプタがある時の Tab 表示

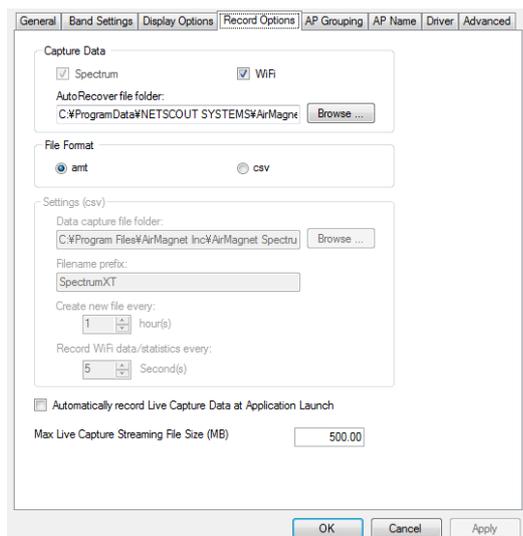
Region/Regulatory Domain	地域/規制
Frequency Band	周波数帯
802.11 b/g	802.11 b/g (2.4GHz)
802.11 a	802.11 a (5GHz)
Reset	リセット

Display Options



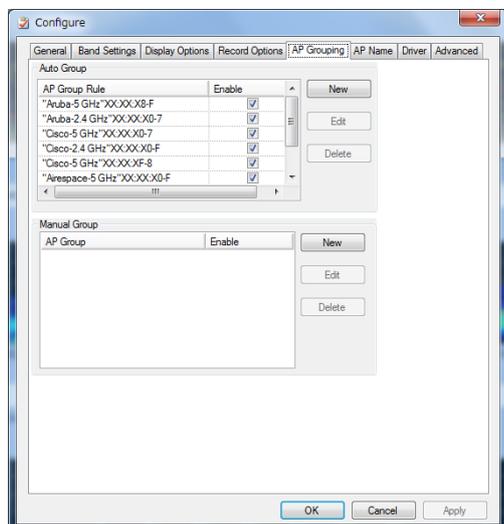
Alert Setting	警告の設定
Show Duty Cycle Alert on Channel Summary	Duty Cycle で警告表示
80% or above Critical Threshold	80% を超えた時に表示
Channel Shadow Setting	Channel Shadow 設定
Show Channel Shadow on Real Time FFT plot	リアルタイム FFT に Channel Shadow を設定
2.4GHz Option	2.4GHz オプション
Non-Overlapping Channel 1,6,11	1,6,11 チャンネルに設定
All Channels	全てのチャンネルに設定
View X-Axis Label By:	X 軸のラベルを設定
Frequency/Channel/ ZigBee Channel	周波数/チャンネル/Bee チャンネルから選択

Record Options



Capture Data	キャプチャデータ
Spectrum	スペクトラムを取り込む
WiFi	WiFi を取り込む
Auto Recover file folder	自動リカバーフォルダ
C:\ProgramData***	保存フォルダの指定
File Format	ファイルフォーマット選択
amt csv	Amt 又は csv を選択
Automatically record Live Capture Data at Application Launch	ソフト立上時に自動で記録を開始する。
Max Live Capture Streaming File Size(MB)	取込最大容量を設定
500.00	容量を設定 (MB)

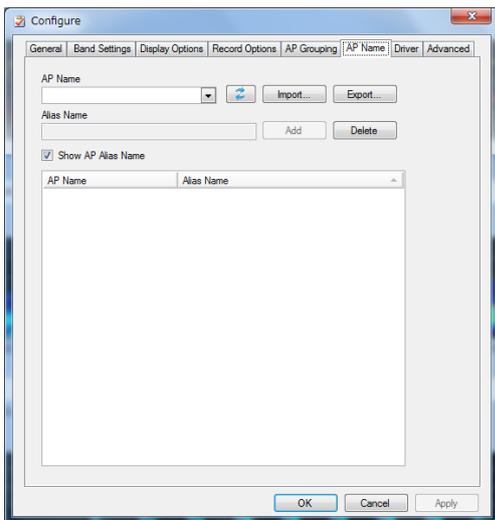
AP Grouping



Auto Group	自動グルーピング
Auto Group Rule	自動グループルール
Manual Group	手動グルーピング

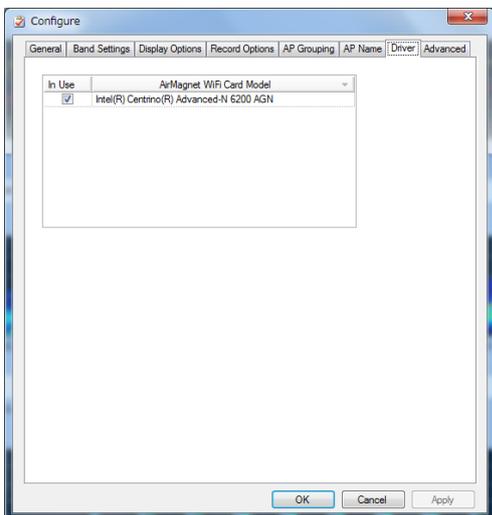
この Tab は、推奨 WiFi アダプタがある時に表示します。

AP Names AP に名前を付けて保存や、読み込むことができます。



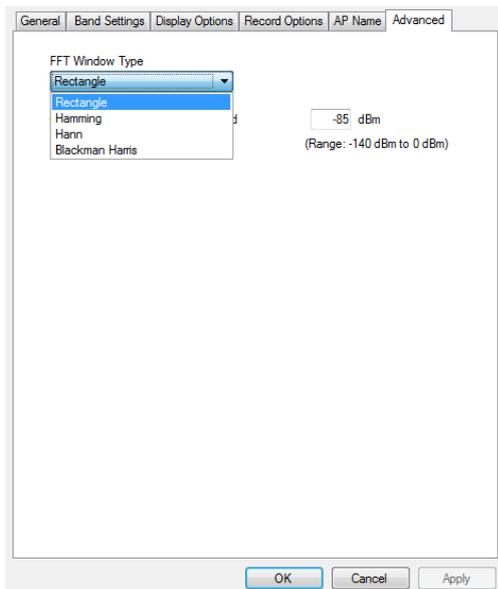
AP Name	AP 名
Import Export	Import 又は Export
Alias Name	Alias 名
Add Delete	追加 又は 削除
Show AP Alias Name	AP Alias 名を表示

Driver netscout 推奨のアダプタのドライバーを選択します。



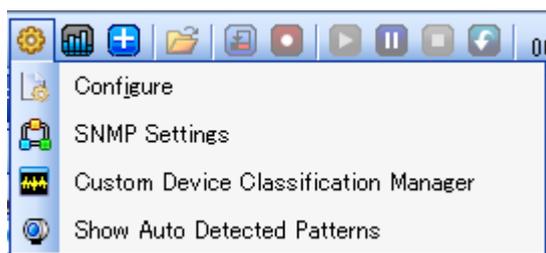
AirMagnet WiFi Card Model	使用する WiFi カードのモデルを選択します
---------------------------	-------------------------

Advanced 拡張機能 信号をFFTする際の窓関数を選択します。

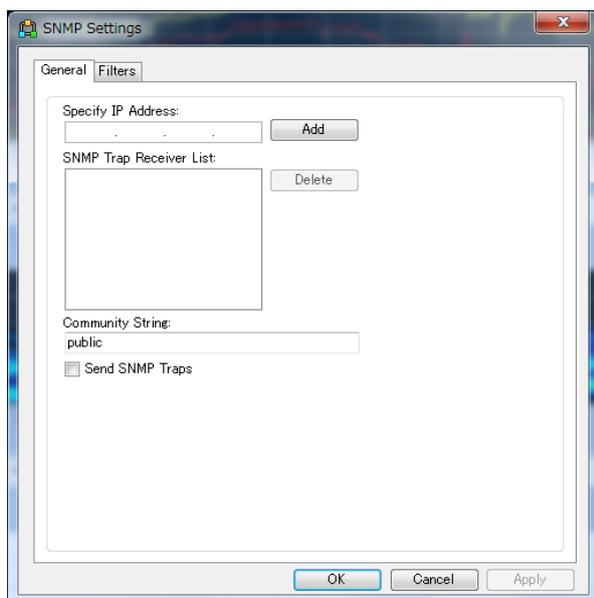


FFT Window Type	FFT の窓関数を 選択します
Rectangle	矩形
Hamming	ハミング
Hann	ハン
Blackman Harris	ブラックマンハリス
Chanel Duty Cycle Power Threshold	Duty Cycle の閾値を 設定します
-85dBm	-85dBm (例)
Range: -140dBm to 0dBm	設定範囲 -140dBm ~ 0dBm

SNMP Setting、Custom Device Classification Manager、Show Auto detect patterns

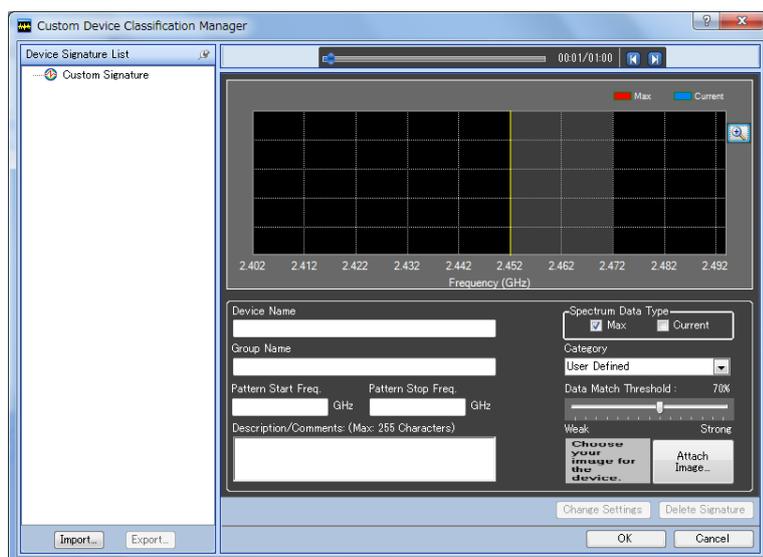


SNMP Setting

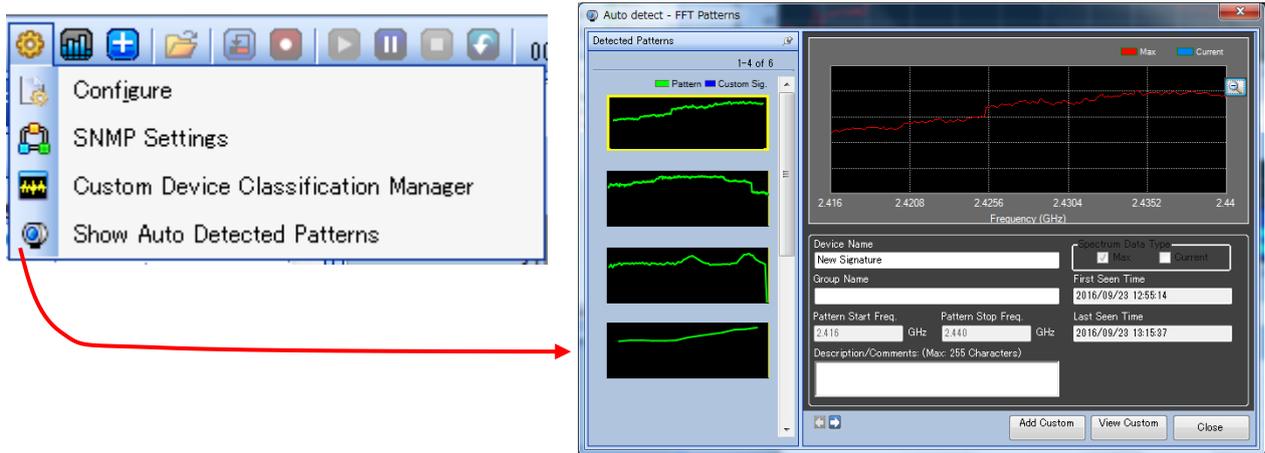


Specify Address	特定のアドレス
SNMP Trap Receiver List	SNMP トラップレシーバリスト
Community String	コミュニティストリング
Send SNMP Traps	SNMP Traps を送る

Custom Device Classification Manager カスタムデバイスの分類をします。



Show Auto detect patterns



Tool bar X 軸ラベル選択、表示の追加、ファイル

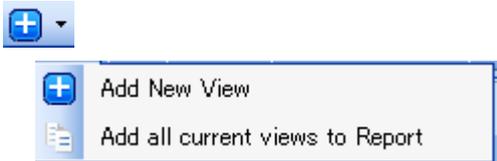


X 軸ラベル選択



X-axis label type	X 軸ラベルを選択
By Frequency	X 軸が周波数
By Channel	X 軸がチャンネル
By ZigBee Channel	X 軸が ZigBee チャンネル

表示の追加



Add New View	新しい表示を追加します。
Add all current views to Report	現在の表示をレポートに追加します。

ファイル



Open Capture File	新しいファイルを開きます。
-------------------	---------------

Tool bar 簡易再生



	Switch to Instant Playback	簡易再生モードに切り替えます。
	Switch to Live Capture	通常取り込みモードに切り替えます
	Start	再生開始
	Pause	再生一時停止
	Stop	再生停止

Tool bar Start/Stop, Reset Data



Start/Stop



Start Recording	記録を開始します。
Stop Recording and Save Capture	記録を停止し、データを保存します

Reset Data

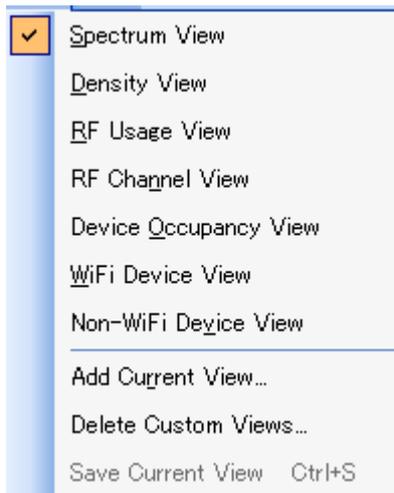


Reset Data	取り込んだデータをリセットします。
------------	-------------------

Easy View



Easy View	簡単表示の項目を選びます。
-----------	---------------

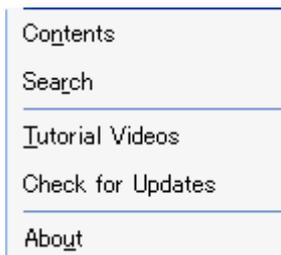


Specrum View	スペクトラム表示
Density View	密度表示
RF Usage View	使用状況表示
RF Channel View	チャンネル表示
Device Occupancy View	デバイス占有表示
WiFi Device View	WiFi デバイス表示
Non-WiFi Device View	非 WiFi デバイス表示
Add Current View..	新しい表示を追加
Delete Custome Views..	カスタム表示削除
Save Current View Ctrl+S	現在の表示を保存

HELP



Help	ヘルプ表示します。
------	-----------



Contents	HELP の内容を見ることができます
Search	HELP から検索をします
Tutorial Videos	Web で製品のビデオを見ることができます
Check for Updates	ソフトウェアをアップデートします
About	AirMagnet Spectrum XT について

WiFi Summary

Ch...	Curr...	Avg	Max	Duty Cycle
1	-107	-103	-40	37.73%
2	-105	-103	-36	21.18%
3	-106	-101	-31	10.37%
4	-98	-99	-31	3.16%
5	-92	-99	-31	15.64%
6	-88	-99	-31	38.87%
7	-85	-99	-34	55.97%
8	-93	-99	-57	14.46%
9	-99	-102	-66	7.30%
10	-101	-102	-44	36.82%
11	-101	-102	-44	53.29%
12	-104	-102	-44	14.48%
13	-105	-102	-44	18.97%
14	-113	-109	-72	0.68%

Channel Summary	WiFi チャンネル概要
Ch	WiFi のチャンネル
Current	現在の測定値
Avg	平均測定値
Max	最大測定値
Duty Cycle	そのチャンネルにおける WiFi と非 WiFi のエネルギーのパーセンテージ

Non-WiFi Interference 干渉デバイスの表示

Interferers & Devices	
Show active only	▼
Interference	<ul style="list-style-type: none"> Auto detected FFT Patterns (count: 5) Digital Cordless Phone <ul style="list-style-type: none"> FHSS Cordless Phone (Id 1)
Non-WiFi Interfer.(1) AP(0) Bluetooth(0)	

Show active only	動いているデバイス表示
Show All	すべてを表示
Interference	干渉
Auto detected FFT Patterns	自動検出 FFT パターン
Digital Cordless Phone	コードレス電話
FHSS Cordless Phone	FHSS コードレス電話
Microwave Oven	電子レンジ
ZigBEE	ZigBEE

コードレス電話を検出

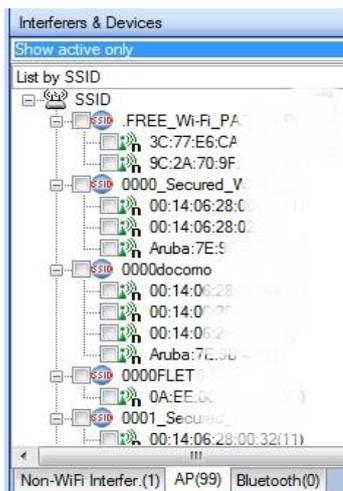
電子レンジを検出

Bluetooth を検出

ZigBee を検出

AP

WiFi チャンネルの表示 (NETSCOUT 推奨の WiFi アダプタが必要です)



下図のように、チャンネルで表示するか、SSID で表示するか
選択することができます。

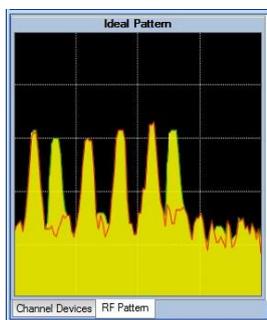


WiFi チャンネルの表示 (推奨 WiFi アダプタが必要です)

Channel	AP	Station	Phone
1	32	16	0
2	12	2	0
3	8	1	0
4	12	3	0
5	10	12	0
6	13	1	0
7	7	0	0
8	12	2	0
9	1	1	0
10	6	1	0
11	27	6	0
12	5	0	0
13	3	0	0

Channel	WiFi チャンネル
AP	アクセスポイント
Station	ステーション (端末)
Phone	電話

RF パターンの表示 非 WiFi デバイスの周波数パターンを表示



操作画面の切り替え



Spectrum WiFi Summary スペクトラムの全体を表示

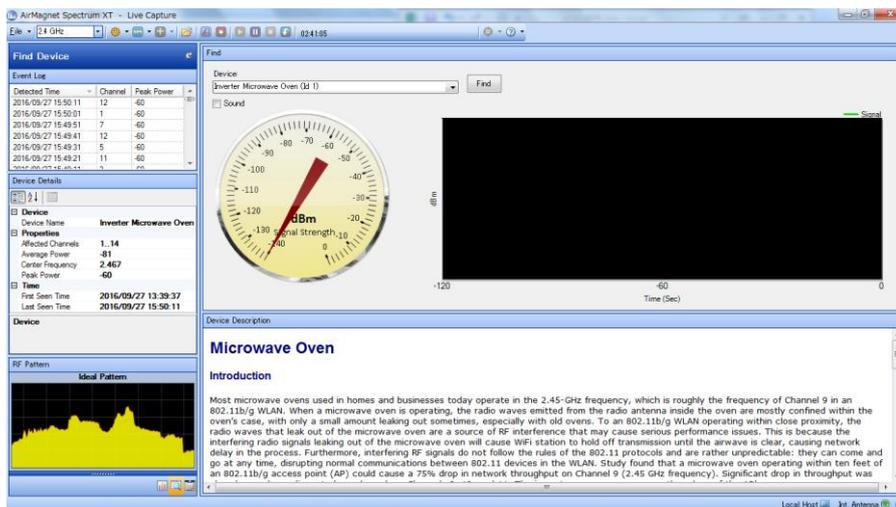


Spectrum WiFi Summary	Spectrum の概要を測定・表示します。
-----------------------	------------------------

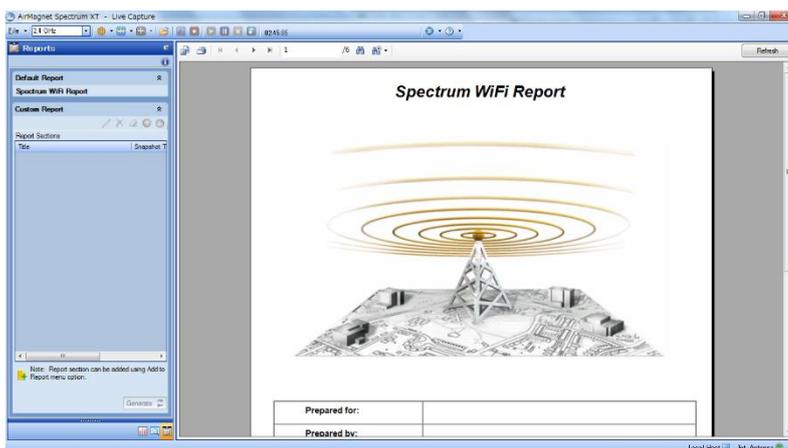
Find Device デバイスを探索



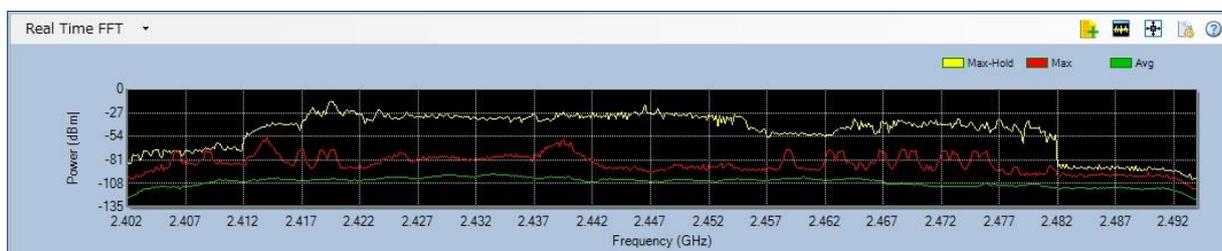
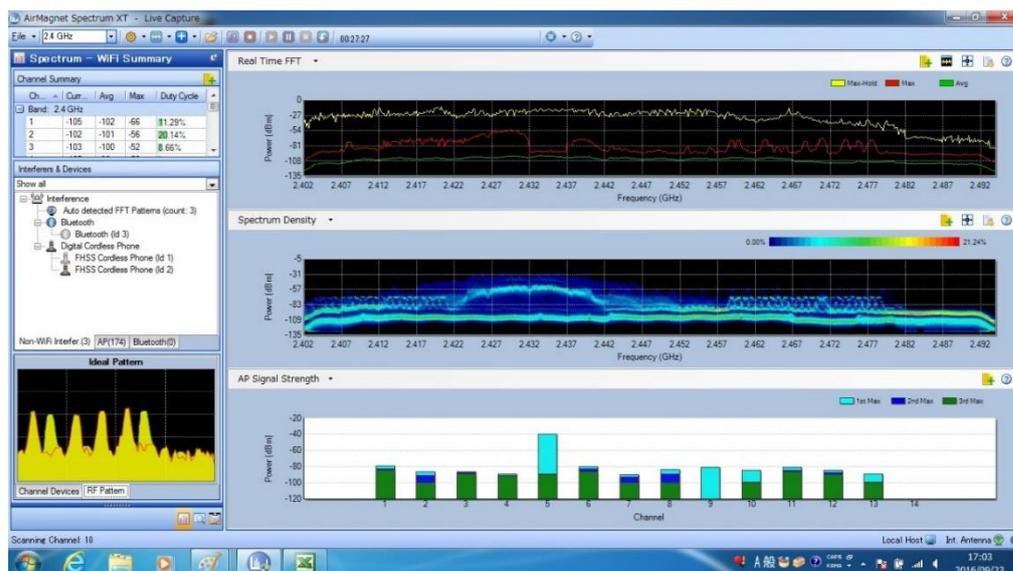
Find Device	デバイスを探します。
-------------	------------



Reports	レポートを作成します
---------	------------



グラフウィンドウ



グラフのメニュー



	レポートに追加します
	カスタムデバイス分類を追加
	グラフのオートスケール
	グラフの設定
	ヘルプ

④ サポートサービスについて

サポートサービスをご契約いただくと、My AirMagnet へアクセスする ID とパスワードをお渡しします。
この Web サイトは下記のような機能があります。

- 最新版ソフトウェアのダウンロード
- 最新版ドライバーのダウンロード
- ユーザーガイド・リリースノートなどのダウンロード
- MAC リセット(Spectrum XT のアダプタの故障に際には、メーカーに連絡をしてアダプタ交換になりますので、弊社までご連絡下さい。(最終ページに連絡先があります)

ソフトウェアのライセンスは USB アダプタなどの MAC アドレスと紐付けして管理されます。

Spectrum XT は専用アダプタに紐付けされます。

ご購入の際にお送りする「My_AirMagnet のご案内」をご参照ください。

My AirMagnet

[MY ACCOUNT](#) | [ORDER HISTORY](#) | [LOG OUT](#)

Hello

Welcome to the newly revised My AirMagnet - your online information center for AirMagnet products and services.

SOFTWARE DOWNLOADS

DOCUMENTATION

DRIVERS

In this secure section of the AirMagnet website, you can:

- View your current AIRMAGNET LICENSES.
- Get PRODUCT UPGRADES.
- Access PRODUCT DOCUMENTATION.

⑤ お問い合わせについて

ご不明なことがございましたら netally@keisokuki-land.co.jp までお問い合わせください。

お問い合わせの際はご質問に加えて下記情報もあわせてご連絡をお願い致します。

- 製品名
- シリアル番号
- バージョン番号
- お使いの USB アダプタ名
- 製品をインストールした or しようとしている OS 名と bit 数

シリアル番号は下記の様になります。

AirMagnet Survey の場合 A4018-XXXXXXXX

AirMagnet WiFi Analyzer の場合 A1150-XXXXXXXX

AirMagnet Spectrum XT の場合 B4070-XXXXXXXX

X には数字が入ります。

インストール時やソフトウェア操作中などにエラー表示がでた場合はスクリーンショットなどで保存していただきメールに添付をお願い致します。



A former NETSCOUT. business

simplicity • visibility • collaboration

<https://www.keisokuki-land.co.jp/netally/>

NetAlly 日本総代理店



東洋計測器株式会社

〒101-0021

東京都千代田区外神田 1-3-12

計測器ランドビル

TEL: 03-3255-8026

E-mail: netally@keisokuki-land.co.jp